

インターンのつながる通信



私たちは動物好きという共通点からペット達が置かれている現状を救う側・殺処分しないといけない側、両方の観点から知るべく二か所の施設を訪問させて頂きました。

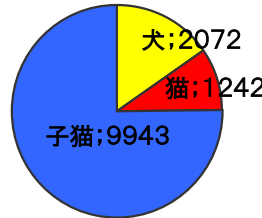


救いたい命・仕方のない現状

大阪府の犬猫殺処分

全国の犬猫殺処分数

犬→100,963匹、猫→209,494匹
1日850匹、100秒に1匹!!



- 犬
- 猫
- 子ねこ

猫の殺処分数は
全国ワースト3位
犬猫殺処分数のうち
75%が子猫という
現状です。(; _ ;)

JCDL

JCDL とは…殺処分0を目指す吹田市に本部を構える
NPO法人動物愛護市民団体。

- 収容数：犬猫合計 → 100匹程度
- 譲渡率：2010年現在 **70.9%**
(内訳：犬**33**匹 猫**6**匹)
- 周囲への配慮
→ 排泄物の消臭や、しつけの徹底
- 資金：募金やバザー。
- 支援物資：ペットショップからフード調達
- 終身預かり=20~30万円/1匹
→ 捨てられる原因
引越し・飼い主の病気・経済的理由・アレルギー
- 行政に求めるもの
 - ・ 資金の援助
 - ・ 保健所は愛護団体に犬猫を譲渡するのを拒まないでほしい。
 - ・ **行政と民間の協力体制が必要。**



犬猫管理指導所

犬猫管理指導所とは…動物愛護精神の普及啓発、狂犬病
予防、動物による危害防止などの
動物指導行政の充実を目的とする。

- 毎日約**6**匹処分。
- 処理方法
昔→**ガス**(何匹も一緒に)
今→薬物による**安楽死**(一匹ずつ、苦しみのないように)
- 殺処分後…
冷凍庫の中→民間の霊園
- 殺処分するしかない現状理由
 - ・ ほとんどが猫。
 - 猫は**保護される法律がなく**、
譲渡は血統書のあるものだけ。
 - 一度に多くを出産するため全ての世話ができない。
- 譲渡問題
 - ・ 犬・飼い主に厳しい譲渡条件がある。
 - ・ 飼い主になる人は20~65歳までという規制がある。
(途中で世話が出来なくなならないよう年齢制限がある。)



<インターン生の見解>

ペットの犬や猫は安易な理由で捨てられ、野良犬・猫は繁殖を繰り返すため、野良犬・猫は増えています。それらの多くは事故や病気で死んでしまったり、人間の手により保健所へ連れて行かれ、冷たい部屋で抑留された後殺処分されたりするのです。しかし、年々殺処分数は減ってきています！私たちは二か所の施設を見学させていただいて今までの考えを払拭させられました。処分所は送られてきた犬猫をどんどん殺していくのだと思っていましたが、命を救いたいという気持ちは一緒だということを知りました。そして、愛護団体や行政にどうこう言う前に私たち飼い主が一番変わらなければならないことに気付かされました。命は簡単に買い、簡単に捨てるものではありません。家族が一人増えるのだと考えて、育てる体力・飼える環境・アレルギーがないか・20年間共にする資金はあるか等しっかり考え、ずっと愛していくことが大切なのです。

私がインターンシップをしようと決めたきっかけは豊中市民として市が何をしているのか知りたい、遠い存在の市議会議員は一体どのような活動をしているのかを知りたいという単純な理由でした。

四年に一度の統一地方選挙という、市議会議員にとって大事なこの時期にインターン生として受け入れて頂いたこと、またそれに至るまでの活動を一緒にさせていただいたことに感謝しています。それと同時に、実は市議会議員は市民の身近にいて、豊中市をよりよくするために市民の声を吸い上げて行政に届けてくれていることを知りました。この二ヶ月間とてつもなく長く感じる程多くの事を学びました。朝夕の通信配りやポスティング、決起集会の調べ物、今まで経験したことのないものばかりで心が折れそうになりましたが、どれも自分の成長に繋がったと思います。

湯之上 葵

生の政治の世界を見てみたい、さらに神原議員は28歳という若さで当選するだけの何かを持っている人なのだろうから、色々なことを学べそうだと思います。インターン生として活動のお手伝いをさせていただきました。実際に朝夕の街頭演説、ポスティング、講演会のお手伝い・議会傍聴・勉強会・地域のイベント・施設見学などの普段経験できないさまざまな経験をさせていただき、いろいろなことを学びました。

そこから見えてきたものは、地道な努力に裏打ちされた紛れもない実力だと思います。寝る間も惜しんで市民のために精一杯活動する姿にみんな信頼を寄せて、市政を託しているのだと感じました。充実した二ヶ月間でした。これからは自分の夢に向かい努力を続けて、人から信頼される人を目指したいです。

宇留嶋 駿

この2ヶ月で学んだことは、「相手にどう思われたいか」という気持ちで人と接すること、いい関係をもたらすということです。神原議員は「せっかく来てくれたなら、気持ちよく帰ってほしい。来たときは怒っておられても」とおっしゃいました。この言葉によって、私のインターン生活は変わりました。一期一会という言葉があるように、人との出会いは一度のチャンスだから、出会えた人といい関係をつくりたい、と考えるようになりました。その心持ちのせいか、作業中におやつを頂いたことがあります。前の私ならポスティング中に声をかけてもらっても、急いでいるからと挨拶だけを返していたのですが、今はいやな顔をせず楽しく会話できるようになりました。これからも、この学んだことを忘れず、いつも大切にしていきたいです。

許 麗淑

あっという間の2カ月でした！議員はマスコミに悪いイメージで報道されることがありますが、実際、議員はどのような活動をしていてどのような人なのかを知りたいと思ったのが参加のきっかけでした。神原議員は常に、なにが市民のためになるのかを考え、毎日休みなく活動されていました。その姿を見て、この2カ月で議員に対するイメージがガラッと変わりました。早朝の街頭演説にも参加させていただきました。寒く辛いときもありましたが、その分受け取ってくださる方や声をかけてくださる方がいるととても嬉しかったです。

インターンシップではいろんな方にお世話になり、たくさんのことを学ばせていただきました。これからの生活でもここで得た経験をいかしていきたいです。

吉田 華菜